

更新

事業者名	国家公務員共済組合連合会熊本共済会館
------	--------------------

＜2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿＞

当社のミッションである「法令順守、社会(地域)貢献、おもてなしの心」、「快適空間の提供、完成を刺激する料理、チームワーク、安心安全の確保、職員のスキルアップ等」を含む10項目の実践を基に、持続可能な未来の実現に貢献できるSDGsに取り組んで参ります。

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標＞

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境	・費用削減	・生ごみ処理機(最後は水になり排水) 2023年度 年間60万円程度の削減(対比2020年度) →2026年度 年間10万円程度の削減目標
☒ 社会		・地下水利用(熊本市との災害時利用締結) 2023年度 年間470万円程度の削減(対比2020年度) →2026年度 年間20万円程度の削減目標
☒ 経済		・館内照明のLED化 2023年度 年間35万Kw程度の削減(対比2020年度) →2026年度 年間15万Kw程度の削減目標
☒ 環境	・温暖化対策として二酸化炭素排出量の削減	・二酸化炭素排出量の削減 2023年度 197t-CO2(対比2020年度) →2026年度 100t-CO2目標
☒ 社会	・ペットボトルキャップ回収でワクチン支援活動 (ホテルでペットボトルキャップ回収→業者→リサイクル→売却益で ワクチン製造→世界中の子供達へ。参考:1人分のワクチンは約2kg 分のペットボトルキャップ)	・ポリオワクチンへの変換(開始当初からの累計ワクチン数3452人分) 2023年度 9人分(対比2020年度) →2026年度 15人分目標
☐ 経済		
☐ 環境	・新卒及び中途採用の実施 ・高齢者再雇用及び女性職員雇用の促進	・採用・中途採用の継続実施 ・2023年度(2024年募集)新卒5名、中途1名→2026年度 新卒4名、中途2名)
☐ 社会		・再雇用者数 2023年度 再雇用5名、介護時短1名、時短2名→2026年度 再雇用2名
☒ 経済		

＜パートナーシップ＞

熊本市と災害時の地下水利用を締結。取引先と信頼関係を構築する事で安心安全な取り組みを実施。コロナ禍においては、共に売上減により厳しい取引先の商品(菓子、花など)や生産農家の市場に出せない規格外野菜を格安で一緒に販売し、良きパートナーとしてこの時期を支えあった。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

＜SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況＞

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境	費用削減 ・生ごみ処理機(最後は水になり排水) コロナもあり年間200万円程度の削減には届かず ・地下水利用(熊本市との災害時利用締結) コロナもあり年間650万円程度の削減には届かず	・生ごみ処理機(最後は水になり排水) 年間200万円程度の削減 ・地下水利用(熊本市との災害時利用締結) 年間650万円程度の削減 ・館内照明のLED化及びインバーター導入 年間30万Kw程度の削減	・生ごみ処理機(最後は水になり排水) コロナもあり年間200万円程度の削減には届かず ・地下水利用(熊本市との災害時利用締結) 年間650万円程度の削減 ・館内照明のLED化及びインバーター導入 年間35万Kw程度の削減
☐ 社会			
☐ 経済			
☒ 環境	・災害時の近隣住民及び現コロナ禍における医療従事者の宿泊受入れ	・災害時の宴会場を無料で受入れ、コロナ感染が不安な医療従事者を格安にて受入れる。 ・2018年度1,547t-CO2 2019年度1,190t-CO2 2020年度 841t-CO2 →2023年度1,500t-CO2目標 (継続実施によりコロナ禍前の水準を維持) ・ポリオワクチンへの変換(累計3,409人分) 2018年度86人分 2019年度31人分 2020年度11人分 →2023年度80人分目標 (継続実施によりコロナ禍前の水準を維持)	・医療従事者受入延べ553人
☒ 社会	・温暖化対策として二酸化炭素排出量の削減 インバーター導入による空調管理、夏季・冬季の空調温度、設定管理、冷温水機稼働時間調整、職員への削減意識の徹底 未達理由)コロナにより催事が少なく全体の使用量が少なかったことが影響した。		・2023年度1,500t-CO2目標 →実績1,181t-CO2
☐ 経済	・ペットボトルキャップ回収 未達理由)コロナにより催事が少なく飲料が取扱いが減少した。		・ポリオワクチンへの変換(累計3,409人分目標→3,452人分) 2023年度80人分目標→20人分
☐ 環境	・新卒及び中途採用の実施 地元の学校への求人及びハローワークへの中途採用求人を実施。また、再雇用及び外国人雇用(現3名)も促進している。 ・高齢者再雇用及び女性職員雇用の促進	・2020年度採用(新卒6名、中途3名) →2023年度 継続実施 期中退職者に伴い、中途採用実施 ・現再雇用5名、育休3名、時短1名	・2024年度採用(新卒5名、中途1名) ・現再雇用5名、介護時短1名、時短2名
☐ 社会			
☒ 経済			

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。